

隔週

NEWSLETTER

WWW.RSI-KK.COM

info@rsi-kk.com

(TEL) 03-6672-6330 (FAX) 03-6388-9283

140-0013 東京都品川区南大井 6-19-8 アズ大森ビル 5階

RSI

2024年5月13日月曜日

グローバルニュース、財務分析、データセンター関連の法律と規制、データセンター業界を変革するテクノロジーの最新情報を隔週でお届け。

ニュースレター番号: NJP12024051004



初のオープンソース・チップが登場「オープン・タイタン・プロジェクト」

ソフトウェアのオープンソース化は、各個人が開発に貢献することで大きな進化を遂げました。そして今ではハードウェアも同じ進化の道を歩んでいます。5年前にlowRISCがGoogleなどと協力して発足したOpenTitanプロジェクトでは、設計と検証の段階を含む完全に機能する初のオープンソースシリコン商用チップがリリースされました。このチップの特筆すべき点はRoot of Trust (RoT) と呼ばれるオンハードウェアの暗号鍵の使用です。RoTは、遠隔からアクセスすることができず、将来の量子コンピューターによって解読できないように工夫されています。オープンソースのソフトウェアとは異なり、オープンハードウェアの設計コストははるかに高く、さらに開発者コミュニティの小ささや、配布後のバグ修正方法などに懸念が残ります。

出典: [IEEE Spectrum](#), February 13th 2024

NVIDIA搭載の日本製スパコン 量子コンピューターの研究へ

NVIDIAが量子研究の大きな前進の一助となっています。産業技術総合研究所(産総研:AIST)量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター (G-QuAT)で富士通が開発したABCI-Qスーパーコンピュータは、NVIDIAのアクセラレーテッドコンピューティングと量子コンピューティングのハイブリッドプラットフォーム(NVIDIA® CUDAQ™)を搭載することを発表しました。

2,000基以上のNVIDIA H100 Tensor コアGPUが搭載され、量子回路シミュレーションと機械学習の進歩を目指します。ABCI-Qは今後、日本の量子テクノロジーイノベーション戦略への貢献が期待されます。

出典: [NvidiaNews](#), March 18th, 2024

データセンターとネットゼロ達成のために期待される変化

AIやIoT、暗号通貨などのさまざまな分野のデジタル化といった新技術の出現により、データセンターへの需要は記録的な高まりを見せています。しかし、エネルギーや水といった資源の使用量を改善するために、データセンター事業者は新技術を導入する必要に迫られています。そのため、各国政府や団体が設定したネット・ゼロ目標（2050年）の達成を実現するために、世界中で新たなレギュレーションや規制、エネルギー効率を高める技術が整備・導入されています。

出典： Datacenter Dynamics, February 7th 2023

メタ、2023年第4四半期 および通期決算を発表

メタ社（本社：カリフォルニア州メンローパーク）は、2023年12月31日に終了した四半期および通期の決算を発表しました。

2023年第4四半期の売上高は、前年同期比25%増の401億1,000万ドルでした。

2023年通年の売上高は1,349億ドルで、前年同期比16%増となりました。創業者兼CEOのマーク・ザッカーバーグ氏は、「我々のコミュニティとビジネスが成長し続け、良い四半期だった。AIとメタバースを発展させるという我々のビジョンは大きく前進した」とコメントを述べました。

出典： [Meta](#), February 1st, 2024

エクイニクスとPGIMリアルエステート 米国初のxScale®データセンター設立

カリフォルニア州レッドウッドシティに本社を置くエクイニクスと、プルデンシャル・ファイナンシャルのグローバル資産運用事業であるPGIMリアルエステートは、米国初のxScaleデータセンターを開発・運営するために6億ドルのジョイントベンチャーを設立しました。データセンターはカリフォルニア州のシリコンバレー地域に建設され、SV12xと名付けられます。2フェーズに分けて建設され、完成時には28MWを超える電力容量を提供する予定です。SV12xは、カリフォルニア州サンノゼにあるエクイニクスのグレートオークス・データセンターキャンパスに位置し、既存のエクイニクス・インターナショナル・ビジネス・エクスチェンジTM（IBX®）データセンター4カ所と並んでいます。第1フェーズは2024年第2四半期に完成する予定です。

出展： [Equinix](#), April 15, 2024

AWSとNVIDIAが協業を拡大、生成AIイノベーションを推進

NVIDIAとAWSは、生成AIの開発を進めるため、さらなる協業を決定しました。AWSがNVIDIAのGB200 Grace Blackwell SuperchipとB100 Tensor Core GPUの提供を開始します。この連携によってAWSのクラウドサービスとNVIDIAのGPU技術が組み合わさり、さまざまな分野での生成AIの進歩を加速させることが期待されています。具体的には、医療やエンターテインメント、製造業などでの応用が想定されます。

このコラボレーションでは、NVIDIA最新のマルチノードシステム、AWSのNitroシステム、AWS KMS（AWS Key Management Service）の高度なセキュリティ、EFA（Elastic Fabric Adapter）のペタビットスケールネットワークング、Amazon Elastic Compute Cloud（Amazon EC2）のUltra Clusterのハイパースケールクラスタリングが組み込まれる予定です。数兆パラメーター規模の大規模言語モデルのリアルタイム推論がより低コストで構築と実行が可能になります。

出典：[AWS Press Center](#) & [NvidiaNews](#), March 18th, 2024

人工知能が2030年までに銅需要を100万トン増加させる？

ある報告書によると人工知能の台頭とデータセンターの増加によって、銅の需要が2030年までにさらに100万トン増加する可能性があります。この予測をしたのは大手貿易商社のTrafiguraです。急成長するAI産業は、銅の需要と供給の不均衡を激化させる可能性があります。さらに、電気自動車や再生可能エネルギー技術など、現在進行中のエネルギー転換は、銅の消費をさらに押し上げることが予想されます。

つまり、AIとデータセンターの拡大はエネルギー転換と相まって、今後の世界の銅市場に大きな影響を与える可能性があるということです。

出典：[Reuters](#), April 09th, 2024

OpenAIがアジア初のオフィスを東京に開設

OpenAIが日本でのサービスの人気に対応する取り組みの一環として東京にアジア初のオフィスを開設しました。OpenAI Japanの新社長として迎えられたのは、AWS日本法人の社長を務めていた長崎忠雄氏です。

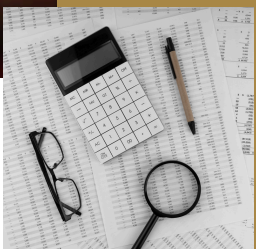
同社は日本語に最適化されたGPT-4カスタムモデルの早期アクセス版を日本企業に提供しています。このモデルは従来より日本語テキストの翻訳と要約の能力が強化され、費用対効果の高さが特徴です。ダイキンやトヨタのような日本の大手企業や地方自治体では、すでにChatGPTを活用して業務効率化を進めています。「テクノロジーやイノベーションを受け入れる文化のある東京をアジア初のオフィスとして選びました」と同社はプレスリリースで述べています。

出典：共同通信、2024年4月15日



RSIのデータセンターの デューデリジェンス支援

建設予定地から運用中のデータセンターまであらゆる側面を徹底的に評価し事業成功へのお手伝いをします。



デューデリジェンスはデータセンターの建設や買収において、なくてはならない工程です。RSIでは建設予定用地から運用中の施設まで、あらゆる側面からデータセンターとしての資産的な価値を評価するお手伝いをしています。データセンターのスペックや性質および設備の状況、

そして現地の土地特性を正しく分析することは、投資先としてポートフォリオに加えるかの判断をする上で不可欠です。RSIの高い技術をもつエンジニアと経験豊富なコンサルタントが、長期的な事業戦略の策定のお手伝いをいたします。

RSIのデータセンター デューデリジェンス

RSIのデューデリジェンス支援は、データセンター事業者や不動産投資会社、あるいは大手建設会社などの幅広い業界のプロフェッショナルからご利用をいただいております。

データセンターの建設や取得において、高度な専門知識と豊富な経験をもって、お客様の事業に最高水準の価値を提供してまいります。

例えば次のようなご相談を承っております

- データセンターの資産評価
- 設備基準の評価
- PUE計算支援
- 設計・監理・現場検証
- 不動産、取得予定地のデューデリジェンス
- 運用中データセンターのデューデリジェンス

RSIだからできること

私たちは、土地・資産評価あるいは設備などのさまざまなデータセンターに関するデューデリジェンス案件に関わってきました。TierやPUEなどの業界内で標準化された指標や、ISOなどの国際規格を用いて適正な評価をすることで国内外問わず多くの企業様を支援させていただいております。

事業の計画において考えられるボトルネックを浮き彫りにし、想定される資産価値と照らし合わせながら、リスクの軽減や回避を効果的に行う支援をします。

RSIが提供するサービスの詳細については、下記の連絡先までお問い合わせください。

03-6672-6330

RSI

140-0013 東京都品川区南大井6-19-8
アズ大森ビル5階
www.rsi-kk.com / info@rsi-kk.com

免責事項

免責事項

このニュースレターは、主要なデータセンターの業界情報、および情報技術に関する最新の開発、洞察、トレンドに関する情報提供のみを目的として作成されています。ニュースレターでは、特に最新および将来のテクノロジー開発に関連する、主要な世界的企業が関与する財務レポートと分析、および企業の合併と買収や北米、欧州連合、アジア太平洋地域の法律と規制などのトピックを取り上げます。

このニュースレターを受信することにより、お客様とニュースレターまたは当社との間に法的関係がないことを理解したものとみなされます。また登録者が本サービスで得た情報を利用したことによって発生した損害について、一切の責任を負わないものとします。

このニュースレターには、当社の製品やサービス、またはパートナーの製品やサービスに関する告知が含まれる場合があります。ただし、お客様の電子メールを第三者に販売、貸与、または利用可能にすることはありません。このニュースレターを購読することで、当社のパートナーから直接電子メールを受け取ることはありません。当社は、ニュースレターサービスを運営している限り、またはお客様が購読を解除するまで、お客様の電子メール アドレスをデータベースに保管します。このニュースレターの購読を解除するには、下記の連絡先情報のメールアドレス宛にメールを送信してください。

05/05

RSI

+81 3-6672-6330

東京都南大井6-19-8 AZ大森ビル5階〒
140-0013 東京都品川区
www.rsi-kk.com / info@rsi-kk.com